

『輝く雪』のまち

ぬまた町

# みんなの議会

2016年4月  
第65号



## はるがきた!!

- 主  
な  
内  
容
- ◎ **クローズアップ** 18才が考える選挙 ..... 3ページ
  - ◎ 保育料 第2子から無料 [予算委員会] ..... 4・5ページ
  - ◎ どうするほたる館 **一般質問** ..... 8ページ
  - ◎ 福祉施設のあり方 [産建福祉常任委員会] ..... 11ページ

# 平成28年 第1回 定例会

## 3月9日～16日

### ◎平成28年度一般・特別会計予算

平成28年度一般会計予算など予算案9件、条例案12件が予算特別委員会（委員長・高田議員、副委員長・大沼議員）に付託され3月10日から3月15日の4日間にわたる審査を経て報告され原案の通り可決決定されました。（詳細4・5頁）

### ◎平成27年度一般・特別会計補正予算

・地方自治体情報セキュリティイテイ対策業務委託  
1571万円  
・財務会計システム環境構築委託料  
451万円

・誘致企業の事業拡大のための助成  
364万円

・国民健康保険特別会計繰出金  
202万円

・一時預かり保育事業委託料  
132万円

・担い手確保・経営強化支援事業  
7823万円

（詳細11頁）

### ◎所管事務調査報告

産建福祉常任委員会から調査報告があり、委員長報告のとおり了承されました。

・長期債繰上償還  
1億2500万円

・農業振興基金指定寄付積立金  
9636万円

・商工観光振興基金指定積立金  
1000万円

◎沼田町過疎地域自立促進市町村計画（平成28年度～平成32年度）が示されました。

◎公平委員の選任  
・大三島茂氏が再任されました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任  
・鶴野育雄氏が選任されました。

**第1回臨時議会**  
1月13日

・国の個人番号の見直しに伴う町税条例の改正  
・ふるさと納税の記念品の増額

・ふるさと納税通信運搬費増  
2800万円  
412万円

・公営住宅修繕費  
68万円

・ふるさとづくり基金指定寄付積立金増  
5650万円

**第2回臨時議会**  
2月15日

・町立沼田厚生クリニックの指定管理者として、北海道厚生農業協同組合連合会が指定されました。

・町職員・特別職の給与に関する条例の一部改正  
・町議会議員報酬・費用弁賞に関する条例の一部改正  
・町道除雪業務委託料  
600万円補正増

**第3回臨時議会**  
3月25日

・地方創生加速化交付金  
小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会特別負担金  
566万円

・担い手確保・経営強化支援事業補助金は、国の不採択により減額補正とした。

7823万円減

今回の傍聴者は、17名でした。

傍聴席の生の声

もう少し、具体的な答弁を引き出してほしい。70代・男性

## 議決された意見書

### 介護報酬の再改定を求める意見書

平成27年4月より実施された介護報酬は実質マイナス改定となっており採算の合わない事業所の閉鎖、撤退が始まっている。また処遇改善加算は介護職だけを対象にしていますが介護現場には看護師、ケアマネージャー・リハビリ技師他多様な職種があり介護職場全体のバランスのとれた処遇改善には加算ではなく介護報酬自体の引き上げが必要です。

以上の実態を踏まえ早期に介護事業所と介護労働者が充実したサービスを提供できるよう、介護報酬のマイナス改定を見直すことを要望した。



## 参議院選から「18歳選挙権」適用

18歳からの選挙権、投票をどう考えているの？

あまり魅力を感じられない今の選挙に色々な疑問が沢山あります。そのためにも少しでも多くの若者が選挙に関心を持ち沼田町が活性化する為に働きかけるようお願い致します。

宮脇 亮輔 (高校生)

選挙権が18歳からになったとは言ってもその事自体には特別な感情はなく、皆さんが成人して選挙権を得た時と同じ感覚だと思います。

久保 そらん (大学生)

私は、投票の際に、安直に世論に流されないようにすることが大事だと考えています。今の党が駄目だから勢いのある党に投票するのではなく、本当に日本のことを考えて活動を行っている政治家に投票することが世の中をよくすることに必要なことだと思います。

畑地 郁

みんな、立派な考えでビックリポン!!



夏の参議院選から選挙年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げになります。世界的には選挙権年齢は18歳が一般的で、日本も国際標準に追いつく形になります。新たに選挙権を得る18〜19歳は約240万人で、有権者の約2%です。各種選挙で20代の投票率の低さは際立っており、18歳選挙権

をきっかけに若い世代に政治への関心が高まることを期待しています。ただ、未成年者の選挙違反、学校内での選挙活動など適切な指導が重要と考えます。今回、新たに選挙権を得る18〜19歳に選挙

# 委員会



一般会計 47.8億円  
特別会計 18.2億円  
総額 66億円

3月9日に第1回定例会が開会、本年度予算案など議案が提出されました。

予算案・条例案が予算等審査特別委員会に付託され、4日間審議しました。

総務財政課の地方財政推移の説明から始まり、各課との質疑をおこない一日ごとにとまどめをしました。

最終日に総括質問をおこない審議の結果、条例案12件と予算案9件を意見を付して認定することに決定しました。

## 総括質問

ふるさとづくり基金



津川議員

寄付金がどのように使われるのか。寄付者に見えるように目的と計画性を持って運用してはどうか。



梅本議員

寄付と共に応援メッセージもたく

8億1,453万円

6億7,152万円

5,317万円

9,099万円

28億4,077万円

さん寄せられています。担当の方できめ細かなものを検討していきたい。

## ライフパートナー



小峯議員



長原議員

夜高あんどん、ほたる祭りなど地域観光資源の利用および他町村と連携して積極的に取り組むべきではないか。



津川議員

国の地域少子化人口対策交付金を利用して、きめ細かな事業を検討し、前向きに取り組んでいきたい。

## 職員数の適正化



鶴野議員



杉本議員

職員適正化計画に沿って配置しているが、事業数は減っていない。長期計画を持って採用し、マンパワーの確保に努めてはどうか。



津川議員

福祉部門などで人員は必要。財政負担にならないよう採用していきたいと思う。

## まちなか英語空間事業



久保議員



津川議員

化石や雪の取り組み、あんどんやほたるなどの観光で外国人も来るようになってきている。事業の頻度拡充、長期継続など予定はどうなっているのか。

## 教育長

独自の取り組みとして、英会話を考えた。平成30年には完全実施していきたい。

## 農業総合対策費



鶴野議員



杉本議員

JA負担金がある事業なので、不用額を出さない事業計画がでないか。



津川議員

予算上は負担金として負担するが、中山間事業に町が負担する2

800万円の一部分に充当している。

## 地域おこし協力隊の定住支援



久保議員

人口増につながる事業として隊員の任期終了後の定住に向けた工夫が必要ではないか。



津川議員

地元に残っても採用を前提でしている。自立できる体制作りは必要と思っている。

## 雇用の場の創出



津川議員

民間企業だけでなく、行政においても、積極的に雇用の場をつくる取り組みを進めるべきではないか。



津川議員

前向きに取り組んでいきたいと思っている。雇用を生み出すような事業も行っていきたい。

# 平成28年度 予算等審査特別



委員長 高田 勲  
副委員長 大沼 恒雄

**認定こども園スタート!! 保育料 80%軽減! 第2子から無料!**

## ◆ 予算審査の結果 ◆

平成28年度は、沼田町総合戦略の実践元年となる重要な年度です。大規模な建築事業を予定しながら、移住定住の促進事業、保育料負担軽減等の子育て支援事業、介護職員確保に向けた諸事業には意欲が伺えます。将来の沼田町のあり方を構築する上で、いづれも重要かつ不可欠な事業と判断いたします。複数の部署を横断しての事業も多く見られることから、執行にあたっては部署間の連携を密にし、町民の幸福感を最優先としながらの執行を強く望みます。

## ◎ 予算審査に付された意見 ◎

### ○町立沼田厚生クリニックの運営について

本年より町立となる沼田厚生クリニックは、町民の健康を守る唯一の医療機関です。町民が親しみながら利用し、町立になったことを感じられる独自性を持った施設運営を望みます。

## 予算概要

▶健康で安心して暮らせるまちづくり	
いきいきと暮らして欲しい事業ほか	52事業
▶活気あふれるまちづくり	
移住・定住を応援します事業ほか	50事業
▶教育環境に優れたまちづくり	
社会教育の充実事業ほか	26事業
▶その他の事業	
ごみ処理に要する経費ほか	7事業
28年度末予定	基金 25億5,748万円 公債

住み替え制度、解体助成制度をどうするか議論が必要ですよ。

成、使える空き家の寄付に関する施策が今後必要でないか。

特定空き家の解体に関する助成、使える空き家の寄付に関する施策が今後必要でないか。

あき地・あき家の管理に関する条例

厚生連全体としての対応もあるのて、徐々に話の場を設けていきたい。



厚生連全体としての対応もあるのて、徐々に話の場を設けていきたい。

独自性を活かした運営ができませんか。



夜間診療など、町立病院として、

町立厚生クリニックの運営

今後に向けてそういう意識でやっていきたい。



今後に向けてそういう意識でやっていきたい。

介護人材バンク制度は報酬意識を持ってすすめるべきでないか。



介護人材バンク制度は報酬意識を持ってすすめるべきでないか。

人材バンク制度

長期的に人材を確保していかないとけない。処遇についての努力はしていきたい。



長期的に人材を確保していかないとけない。処遇についての努力はしていきたい。

報酬の見直し及び適正な人員を配置し、仕事量の軽減を図るべきでないか。



報酬の見直し及び適正な人員を配置し、仕事量の軽減を図るべきでないか。

介護職員の処遇

## 町長への一般質問

**問** 町は中核商業施設の経営に積極的に関与すべきだ

**答** 商工会や農協と協議し責任を果たしていく



高田 勲  
議員

は違って、厳しい条件が提示されています。

これに伴い商業施設全体を統括する運営会社の経営も困難が予想されます。資金繰りなどの自助努力はもちろん必要です。

経営支援を含めて、町としてどのように関与していくのか。

**問** 平成28年度は当初予算に、商業中核コミュニティ施設建設補助金が盛り込まれています。商工会と農協と行政が一体となって計画してきた施設の建設が始まります。

私たちの沼田町は小規模な自治体で、高齢化も進んでいます。生鮮食品を扱うスーパーマーケットは、電気や水道のようなライフラインに等しいのではないかと思います。

テナントで進出予定の道北アークスとは、長い時間をかけて交渉を行って来ましたが、当初予定した条件と

 町民の皆様が町民として生活を送るための



今年から整備が始まる中核商業施設のイメージ図

基盤となる施設であると考えています。

一階のイベント広場や町民サロンの、商業者の方も農業者の方も有効に使っていただき、市街地が賑わっ

**問** 建設予定の施設は機能が重複している

**答** 利用目的や利用対象者が違う



久保 元 宏  
議員

てくれたらと考えます。商業施設が完成し、運営会社が立ち上がった後も、商工会と農協と行政が連携し、それぞれの責任を果たしていきたいと思えます。

にも和室が作られます。これらの施設の利用率は決して高くはありません。国の補助金の出所によって、このような状態が生まれていくのかとも考えられますが不合理です。

**問** 新年度で建設が予定されている施設には、機能の重複が見られます。例えば、旧中学校跡地に建設予定の多機能型総合センターから医療・福祉を抜いた機能と、商業中核コミュニティ施設からスーパーマーケットを抜いた機能はほぼ同じです。

このほか現有の施設でも、ゆめつくる・ふれあい・町民会館の和室などに重複が見られ、更に商業施設の中

基本的な施設の目的が全く違うの、私は機能が重複しているとは考えていません。ゆめつくるは生涯学習の拠点、ふれあいは町民の健

康増進の場としての目的を持って建設されました。

今年度建設予定の商業施設は、住民の買い物とそれに伴う憩いの場です。多機能型総合センターは、医療・介護・福祉の更なる連携と地域包括ケア、更には子育て支援を視野に入れた施設です。

国の補助事業にはそれぞれ補助目的があります。町としてはどのような人が、どんな目的を持って利用して活動していくのかを想定して、予算の提案をさせていただきます。

現在の施設には老朽化が進んだものもあります。例えば町民会館の集会室機能を商業施設に移すなど、将来を見据えて施設機能の統合を考えて行きます。



和室の使い方もさまざまですが

**問 町として雇用の場の確保は**

**答 既存の事業所で検討していきたい**



津川均  
議員

**問** 沼田町の人口も3200人台まで減少し、以前として人口減少に歯止めがかからない状況です。人の転入、転出の傾向を見ると3月の転出の割合が高いです。

これは高校、大学を卒業したが、地元で働く場所がないので就職のために都市部に住所を移すことで転出が増えると考えられます。町長の執行方針の中でも住みやすい町を目指し、将来の町づくりを行なうとありました。子育て、福祉などで移住定住を進めることは大切です。この町で生活すること、生活するためには働く場所がなければなりません。

地方創生総合戦略の中で

も『まち・ひと・しごと』がメインとなっているが『しごと』の具体策が示されていない。

企業誘致も進まない現状で雇用の場の確保対策をどのように考えるのか、町独自で雇用の場ができないか、町長の考えを聞きたい。



雇用確保対策の求人情報をお知らせ版と合わせ配布しています。その中で13社が社員を募集しています。仕事としてはあるようですが、条件が合わず雇用が進まないようです。新年度に向けては雇用の場の確保には触れていませんが、農産加工場も職員募集をしていますし、介護施設も募集は続けています。新しい場を作ることは大切に思いますが、既存の事業所への人手不足を改善することを考えていきたい。

人材不足は介護職員だけでなくありません。農業においても同様で、一戸の経営面積も平均18ヘクタール以上に規模拡大が進み、春作業は従来の家族労働で



職員を募集している  
北のほたるファクトリー

**津川均議員の教育長への質問**

**問 「再会の塔」の今後の維持は**  
**答 同窓会の考えを尊重したい**

**問 農業の人材の確保がむずかしい**

**答 労働力循環システムは必要と考える**



誠原長  
議員

**問** 人材不足は介護職員だけでなくありません。農業においても同様で、一戸の経営面積も平均18ヘクタール以上に規模拡大が進み、春作業は従来の家族労働で

は対応できず派遣労働にたよっているのが現状です。派遣労働も以前は確保できていましたが、最近希望日に確保出来なくなってきています。町で人材バンクをつくり潜在的な労働力の確保が

きないか。また、建設業界との農商連携による相互の労働力の確保ができないか考えを聞きたい。



農業と建設業の連携の提案自体は理解できます。現状、建設業界との話はしていませんが、双方の関係が構築されれば互いに助かると思います。建設業界も秋の仕事が増える予測もありますので労働力の循環ができるシステムは必要と考えます。

本格的に始まった農作業



**問** ほたる館の運営をどう考えているか  
**答** 町民の理解のもと、工夫していく



之 範 野 鶴  
議員

今年度より、たくさん  
の事業が始まるが、改修計画  
をどのように考えているか  
聞きたい。



経営改善につ  
いては全体的な利用  
者の減少から近隣ホテルも  
そういう状況ですが、お互  
い意見を出し合い27年度、  
28年度についてはいろいろ  
なイベントを通じて集客力  
を上げる工夫をはかってい  
きたい。

**問** ほたる館は、できて  
から23年が経過し、多  
くの町民に利用され、沼田  
町にとって大切な施設です。  
平成25年からはシダック  
を指定管理者として経営  
をしています。

この指定管理者について  
は当初、全国ネットワーク  
の民間力により、経営の改  
善と、集客力のアップが、  
私たちの思いでありました。  
3年が経過しましたが、  
当初期待していた成果が出  
ていません。

今後指定管理者として  
経営を継続してもらえるか  
が心配です。

原因はどこにあると考  
えるのか。

施設の老朽化にともない、  
改修が必要と考えます。



施設の改修ですが、老朽  
化にともない外壁、屋上の  
防水、窓、内部の配管、冷  
房などがあります。  
改修には何億もかかりま

す。

町の財政状況か  
らすれば、踏み込  
める状況ではあり  
ません。

ほたる館の営業  
に支障をきたさな  
い範囲で改修、改  
善をしていきたい。



20年以上が経過したほたる館

**問** TPPの影響で担い手への町内対策は  
**答** 効率的な予算化で対応したい



雄 邦 杉  
議員

加工農産物の生産、販売な  
どに国は支援をしていこう  
としています。

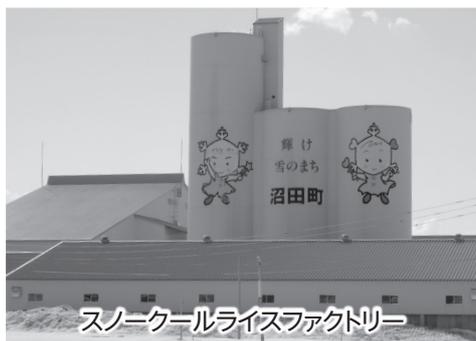
本町においては個人完結  
型でやっていける規模です。  
国の補助事業で大農具や  
格納庫の補助時に、優先順  
位として法人や協業経営が  
優先されます。

総合戦略にはこの意識改  
革が書いてあるが、もう少  
し町も農協も意識を変えて、

**問** 杉本邦雄議員のその他の質問

**問** 地方創生総合戦略を推進するためのポイントは

**答** 今後も官民協働で協議していきたい



スノークールライスファクトリー

個人農家でも補助金を受け  
られるように、広い視野で  
担い手を育成できないか。



TPPの問題は  
町としても同感で  
す。農業後継者が育つ、安  
定した所得が受けられるよ  
うに努力したい。

農業は基幹産業ですので、  
町も農協も農業者自らもで  
きる事を議論して、効率的  
な事業の予算化をし、国に  
要望をしていきたいと思っ  
ています。

**問 福祉事業の充実に**

**答 状況を確認しながら政策を実行したい**



小 峯 聡  
議員

冬だけではなく、夏もハイヤーチケットの対応はできないのか。



多機能センターの近くに、財源が

**問** 現在の沼田町は高齢化率が40%を越えて今後も高くなると予想される高齢化対策が必要ですが、環境整備について、今後コンパクト・エコタウン計画の中に高齢者住宅が組み込まれていると説明を受けていますが、高齢者住宅ができるまでに、どのような対応をするのか。

もう一つは、デマンドバスの利用者が多くなると、自分の思ったようにバスが利用できなくなります。



利用率があがっているデマンドバス

許すのであれば早めに高齢者生活支援ハウスを建てたいと考えています。高齢者の世帯から申込みがあった場合には町内の公営住宅で、

**問 TPPに反対の声を**

**答 状況を確認しながら政策を実行したい**



橋 場 守  
議員

高齢者の生活状況を確認して提供させていく体制はとっています。デマンドバスも利用状況が伸びていますが、更にという形で利用するのが良いのかを含めて調査をする

予定です。商業施設とクリニックのアクセスもどのようにするのか調査検討したいと考えています。夏のハイヤーチケットについては現状では難しいと考えます。

**問**

TTPPは日本の農業を守るためではなくて、

TTPPを利用して、企業が一番活動しやすい国に作り変える事が念頭にあると思います。日本国民の健康・命を守るために、ぜひ国に対して反対してほしいと思います。

十勝では反対集会が始まっています。北空知の市町に呼びかけて、TTPP協定反対の集会などの行動をとるつもりはないか。



現状ではその行動を起こす考えはありません。関連法案を含めて閣議決定され論議が始まり、

次第に詳細が見えてくると思いますが、食以外にも保険など多くの問題があるので、それらについて情報を提供したいと思いません。



**橋場守議員のその他の質問**

- 問** 消費税の廃止を要求すべきではないか
- 答** 社会保障費の財源確保の増税です
- 問** 地方創生の今後の展開について
- 答** 国にビジョンを示し、町の発展に利用したい
- 問** 安保法制の廃止を国に求めているかどうか
- 答** バランスの取れた平和が大切

## 問 予防接種の副反応対策は

答 周知説明していきたい



大沼恒雄 議員

**問** 実施要綱や定期・任意予防接種の啓蒙、助成はしているがワクチン予防接種の副反応についてはほとんど説明がなく、定期接種の副反応には一切触れていません。

実際に副反応が出た場合、町民はどのように対処してよいのかわからないのが現状です。  
町民が安心して予防接種を受けるには、副反応の説明の掲載、万が一の場合、健康被害に対する救済制度を設ける必要があると思うがどのように考えているか聞きたい。



説明不足は否めません。空知管内でも副反応が出て悩まれてる方がいると新聞に出ていました。周知、説明をして改善をしたいと思います。

副反応が生じた場合、現行でも保険制度、救済制度はありますが、内部議論がされていないので副反応に対応できる体制に取り組みたいと思います。

### 副反応と副作用の違い

副反応：ワクチン接種による生体反応によるもの  
副作用：医薬品による化学的作用によるもの

### 大沼恒雄議員のその他の質問

#### 問 障害者差別解消法の対応は

答 北空知自立支援協議会を核に職員の情報共有をはかりたい

## 総務民教常任委員会

### テーマ▶『駅と共に成長する街づくり』

2月12日◎留萌市



留萌市での意見交換

今年、待望の北海道新幹線が開業しました。

しかし、その裏では赤字ローカル線や駅が廃止になりそうです。

駅は交通の拠点として、町づくりの役割を担ってききました。

人やモノが集まり、商店街も活気をみせ、駅を中心に街が形成されました。

今は人の交通手段やモノの輸送方法が大きく変わり、利用が減少してきています。

昨年よりJR北海道は利用率の悪い路線を発表するようになりました。

北海道新聞には、秩父別町長は「朝夕以外は利用が少ない。いよいよ来たのかな」というのが率直な思いだ」と述べ、増毛町長は「(廃止論が)とうとう来てしまった。住民の利用が少なくなった。廃止検討は仕方ない面があるが、観光には痛手だ」と話したとのことで、沿線首長からさえ、あきらめの声が聞こえてきます。

こうした中、当委員会では改めてJR駅を中心とした街づくりの可能性を調査



JRるもい駅

することにしました。

今回は、廃線が決まった留萌・増毛間について留萌市、議会の取組について懇談をしてきました。

留萌議会では留萌線検討対策会議を設け、JR北海道への質問事項を協議しました。また、全議員で市民へ街頭アンケートを実施しました。

- 主な内容は
- ・ 廃線に向けての今後のスケジュール
  - ・ 今までのJR北海道の営業努力
  - ・ 街づくり、地域振興
  - ・ 留萌・深川間の廃止の可能性

我々は今後、沼田駅を中心とした街づくりの可能性を考えていきます。

産建福祉 常任委員会 ★ 調査報告

委員長 長原 誠  
副委員長 小峯 聡  
委員 橋場 守  
津川 均  
高田 勲

# 福祉施設の在り方

苫小牧市 社会福祉協議会

本委員会は、人口の減少に歯止めがかからず、加えて今後高齢化率がますます高くなる沼田町において、更なる高齢化対策が必要であることや、国の介護制度の見直しによって、施設介護から在宅介護へ方針転換されたことから現在の介護システムを新たに構築する必要があると考え調査を行った。

以下の5点の意見を示し調査報告とする。

在宅老人世帯の増加に伴い、バランスのとれた食事と安否確認、規則正しい生活のリズムの確立やモニタリングなどを目的とした配食サービスや生活全般の支援などのシステムを構築し、きめ細かなサービスが望まれる。

町内で看取りができる体制づくりを検討すべきである。

各介護施設の職員不足が見込まれるため出産や育児などに対する職場の環境整備を整えるなどの職員確保対策、各施設間の人事交流、研修による資質向上や定着率の向上、給与やキャリア待遇改善のための対策、メンタルヘルスに対する対策が必要で職員確保のための大胆なシステムの構築が望まれる。



いろいろな体の状態に合わせたリハビリや、健康維持のための仕組み、予防介護の仕組みなど特色ある福祉施設が必要である。

健康寿命を延ばすため、介護の必要があるなしに関わらず在宅の人が気軽に集まれる機会、場所の提供が必要である。

## 平成28年開拓記念式を挙

# 絵内前議員・上野前議員に自治功労者表彰

4月25日に開拓記念式が挙行されました。明治27年の入植から122年を迎えた本町の開拓を祝い、先人の労苦を偲び感謝するための式典です。この日を開拓記念日と定め、庁舎前庭の記念碑のもとに関係者が集い、毎年厳粛な中で挙行されます。



開拓記念式の様子

式典に先立ち、町の表彰規定に基づいて前議員の、絵内勝己氏と上野敏夫氏に自治功労者の表彰状が贈呈されました。

絵内氏は4期、上野氏は3期にわたり町議会議員を務められました。町政の発展に貢献されたことが認められての受賞です。

同時に前教育委員長の日暮茂男氏も表彰を受けられました。



表彰された方々

## あとがき

平成28年度がスタートしました。4月1日には認定こども園の開園式が行われ、幼児への質の高い保育と教育への期待が高まっています。

さて、4月14日に発生した熊本地震ですが、震度6クラスの余震が続きました。犠牲になられた方、被災された方に、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

以前、議会の委員会で防災について調査をしたことがあります。災害が発生したとき、行政が一番苦労するのが「住民の安否確認」です。安否確認には町内会の協力が不可欠です。

遠く離れた地での災害ですが、対岸の火事にしてはいけません。町内会と言う日本独特のローカルコミュニケーションを、いつまでも大切にしたいものです。

### 広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲  
小峯 聡 長原 誠  
鵜野範之

## みんなの広場

### 「消防団長 就任にあたり」



深川地区消防組合沼田消防団長 大原正己

この度、平成28年4月1日付けをもちまして、沼田消防団長を命ぜられました。

長い歴史と伝統ある沼田消防団の名に恥じぬ様、微力ではございますが誠心誠意努めて参る所存ですので、皆様方のご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

私たち消防団員は「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛の精神に基づき、普段は別の仕事を持ちながら、災害時には常備消防と連携して消火活動や救助活動に取り組んでおります。災害出動などの消防団活動は昼夜を問わず、団員に係る精神的・肉体的負担は大きく、家族や職場の皆様のご理解ご協力が不可欠であります。

東日本大震災から5年の月日が流れましたが、その間もわが国では毎年どこかで予期せぬ災害が発生しております。今後、起こりうる自然災害に対し消防団の役割任務は一層重要となり、消防団に対する町民からの期待はますます高まっているところであります。

本消防団といたしましても、自然災害等に備え、救助資機材を配備するとともに、活動服や防火衣、防火ヘルメットなど団員の装備面を充実させ、団員の活動しやすい環境づくり、また、消防団員確保の一助に努め、町民皆様の安全・安心を守るため、日々訓練を重ねて参ります。

私は、副団長として6年間務めた経験を生かし、各分団の意見や連携を大切にして、各種訓練等への積極的な取り組みで、多種多様な災害等に対応できる消防団を築くためにも各団員の皆様と共に日々精進して行く所存でありますので、今後とも、ご支援、ご協力の程宜しく申し上げます。